

(目的)

第1条 この条例は、総合計画の定義、構成、位置付けその他総合計画の策定等に関し必要な事項を定め、もって総合的かつ計画的な市政運営を図ることを目的とする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 総合計画 総合的かつ計画的な市政運営を図るための長期的なまちづくりの指針をいう。
- (2) 基本構想 市のまちづくりの基本的な理念であり、将来都市像及び基本目標を示すものをいう。
- (3) 基本計画 市の基本的な計画であり、基本目標を踏まえた施策の基本的方向及び体系を示すものをいう。
- (4) 実施計画 市の基本的な計画であり、基本計画で定められた施策をどのように実施していくかを具体的に示すものをいう。

(構成)

第3条 総合計画は、基本構想、基本計画及び実施計画で構成する。

(位置付け)

第4条 総合計画は、全ての施策を網羅した市の最上位計画と位置付ける。

2 各行政分野に関する計画を策定し、又は変更するときは、総合計画との調整を図らなければならない。

(総合計画審議会)

第5条 市長の諮問に応じ、総合計画について調査審議するため、豊明市総合計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

2 審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(議会の議決)

第6条 市長は、基本構想を策定し、又は変更するときは議会の議決を経なければならない。

(公表)

第7条 市長は、総合計画を策定し、又は変更したときは、すみやかにこれを公表するものとする。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

(廃止規定)

2 豊明市総合計画審議会条例(昭和47年豊明市条例第18号)は、廃止する。

(趣旨)

第1条 この規則は、豊明市総合計画条例(平成25年豊明市条例第4号)第5条第2項の規定に基づき、豊明市総合計画審議会(以下「審議会」という。)の設置及び運営に関する事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 審議会は、委員30人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が任命する。

- (1) 公募により選出された市民
- (2) 学識経験を有する者
- (3) 関係機関及び団体の代表
- (4) その他市長が必要と認める者

(役員)

第3条 審議会に会長及び副会長を置く。

2 会長は、委員の互選によって定め、会務を総理する。

3 副会長は、会長が指名し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(委員)

第4条 委員の任期は、3年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 審議会の会議は、会長が招集する。

2 審議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(委任)

第6条 この規則に定めるもののほか、審議に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(令和8年規則第11号)

この規則は、令和8年4月1日から施行する。

豊明市総合計画審議会の公開等に関する取扱要領

1 会議の公開

豊明市総合計画審議会（以下「審議会」という。）の会議は公開するものとします。ただし、会議の内容を公開することが適当でないとして、審議会が判断した場合は、公開しないことができます。

2 傍聴者の人数

傍聴者は、市内在住又は在勤、在学の者を対象とし、その人数は、会議の会場に応じて、事務局が定めます。

3 会議の公開の周知

会議の開催日時、場所、傍聴者の人数は、「豊明市公式ウェブサイト」に掲載します。

4 傍聴の申し込み

会議の傍聴を希望する者は、事務局にその旨を申し込むものとします。

5 傍聴の遵守事項

傍聴者は、私語を交わしたり、審議会に対する発言はできません。

また、審議会が特に認めた場合を除き、会議の録音又は撮影はできません。

なお、傍聴者に会議の進行を妨げる行為が見受けられた場合、会長は、その者を退室させるとともに、次回以降の会議の傍聴を拒否することができるものとします。

6 会議資料の取扱い

会議資料は、別に定めのある場合及び審議会が支障があると認める場合を除き、傍聴者に貸与し、会議終了後、傍聴者の請求により写しを配付します。

7 議事録の作成及び公開

事務局は、会議の議事録を作成し、公開するものとします。この場合に、議事録は、出席委員の確認を受けるものとします。

8 その他

この要領に定めるもののほか、必要な事項は会長が審議会に諮って定めます。

9 施行等

この要領は、平成26年5月29日から施行します。

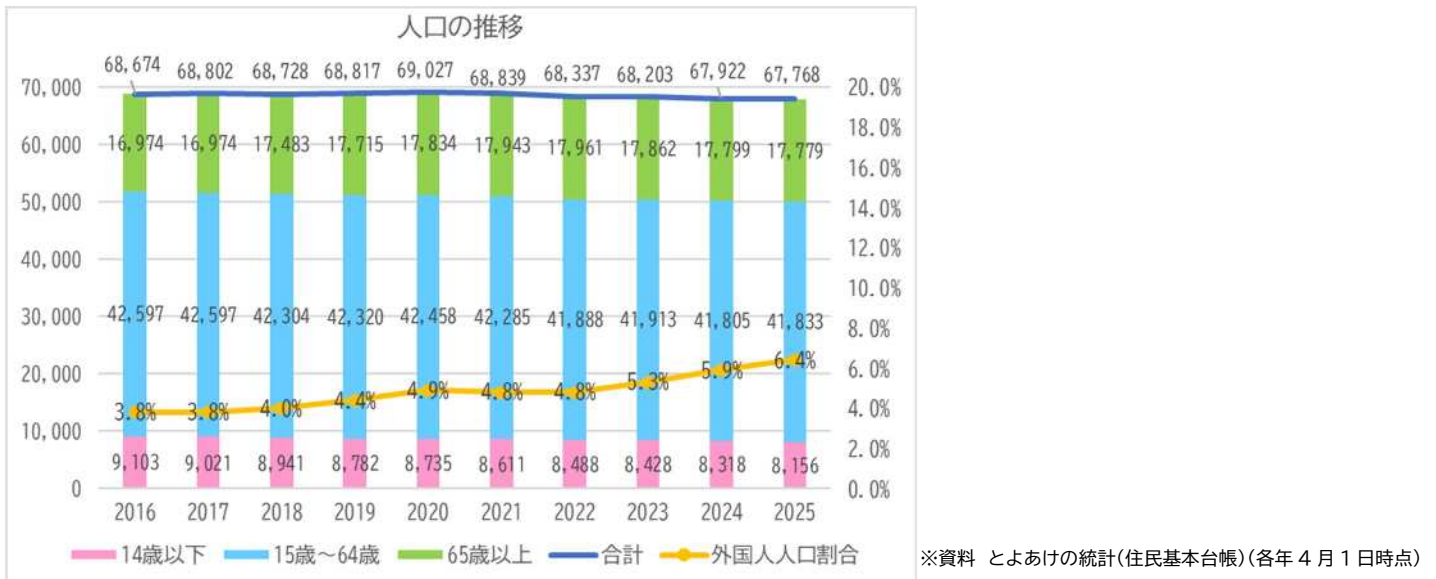
1. 第5次総合計画期間(2016-2025)の人口の推移

日本の総人口は2025年4月1日で1億2,340万人と、前年よりも60万人近く減少し、2011年以来14年連続減少となっています。65歳以上及び75歳以上の高齢者人口の割合は過去最高となっている一方、14歳以下人口の割合は過去最低となっています。

本市における人口は、1958年から1980年まで急激に増加し、それ以降は緩やかな増加傾向にありました。第5次総合計画における人口推計では、2015年頃をピークに減少に転じる予想から、**2025年の目標人口を71,000人に設定**しましたが、実際には2020年の69,027人をピークに減少へと転じました。

一方で外国人口は増加傾向にあり、2016年の2,620人から2025年には4,322人となり、**外国人人口割合は6.4%**に達しています。

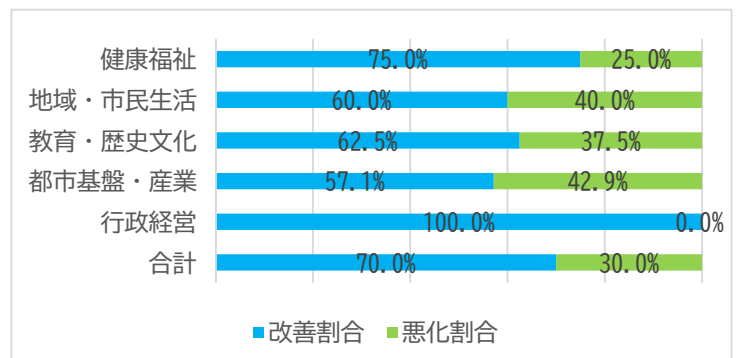
全国的にも2011年以来14年連続で人口減少が続いている中、本市でも第5次総合計画期間において人口減少、少子高齢化の局面となっており、今後もその流れが続くことが予想されます。



2. めざすまちの姿ごとの満足度について

第5次総合計画においてはまちの未来像「**みんなでつくる しあわせのまち とよあけ**」の実現に向けて、40個のめざすまちの姿を設定しました。このめざすまちの姿の満足度を毎年行っているまちづくりアンケートにおいて、5段階で評価を行っています。計画初年度である2016年度と最終年度の2025年度のめざすまちの姿の満足度の平均値を比較すると、分野ごとに差はみられるものの、全体として7割のめざすまちの姿で改善の傾向が見られました。

分野	計画初年度から改善	計画初年度より悪化
健康福祉	6	2
地域・市民生活	6	4
教育・歴史文化	5	3
都市基盤・産業	4	3
行政経営	7	0
合計	28	12



3. まちづくり指標の進捗状況について

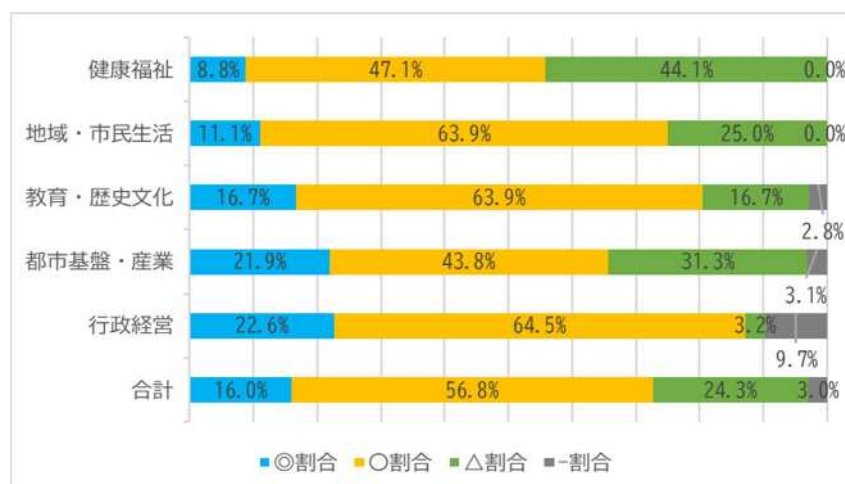
めざすまちの姿の達成状況を測る“ものさし”としてまちづくり指標を設定しています。まちづくり指標については市民や子ども等にアンケートを行う主観指標と各種事業の実績等の客観指標が含まれています。計画最終年度である2025年度の実績値において、目標値を達成している指標は27個と少ないものの、全体としては、7割を超える指標が基準値(2014年現状値調査)より改善しており、着実にまちづくりが進捗していると評価できます。基準値より悪化している指標については、0～14歳の子どもの数や豊明市の出生率などは人口減少の影響、「よその子どもをほめたり注意したりできる市民の割合」、「町内会の加入率」などは社会情勢の変化の影響が考えられます。

分野	目標値達成 (◎)	目標値は達成していないが基準値より改善 (○)	基準値より悪化 (△)	評価不可能 (-)	進捗割合 (◎○の割合)
健康福祉	3	16	15	0	55.9%
地域・市民生活	4	23	9	0	75.0%
教育・歴史文化	6	23	6	1	80.6%
都市基盤・産業	7	14	10	1	65.6%
行政経営	7	20	1	3	87.1%
合計	27	96	41	5	72.8%

※まちづくり指標の合計は154個。

うち、高齢者や障がい者など対象ごとに数値を把握している指標があるため、169個で整理。

※評価不可能については、指標が取れなくなった、測定方法が変わったなどのもの。



4. 全体を通して

第5次総合計画の10年間ににおいては、人口減少社会への突入、新型コロナウイルス感染症の拡大、孤独・孤立問題の顕在化、価値観や生活様式の多様化など社会情勢や私たちの生活環境が大きく変化しました。その中で、市としてまちの未来像「みんなでつくる しあわせのまち とよあけ」やめざすまちの姿実現に向けて様々な施策に取り組んできました。めざすまちの姿の満足度やまちづくり指標の進捗状況から、目標達成に向けて一定の効果が表れていることが分かります。

一方で、第5次総合計画策定時から社会情勢等が変化し、第5次総合計画策定時に設定しためざすまちの姿やまちづくり指標では、現在の市の施策の効果を測ることが難しくなっているなどの課題も生じています。

そのため、第6次総合計画では第5次総合計画の基本的な考え方を踏襲しながら、現在の社会課題などを踏まえより成果志向型の総合計画となるよう策定を行いました。

5. 第5次総合計画「めざすまちの姿」ごとの主な事業

【まちの未来像】

みんなであつくる

しあわせのまち

とよあけ

分野	めざすまちの姿	取り組んだ主な事業
健康福祉	子ども、高齢者、障がい者等への虐待やDVなどがない	家庭児童相談室事業、児童発達支援センター事業、重層支援体制整備事業
	子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている	スポーツ振興事業、健康づくり事業
	多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している	重層的支援体制整備事業、包括支援事業
	元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢を持つことができる	一般介護予防事業、高齢者生きがいづくり事業、包括支援事業、共生交流プラザ管理運営事業
	誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができる	障がい福祉サービス事業、多文化共生推進事業、LGBT 事業、共生交流プラザ管理運営事業
	支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない	重層的支援体制整備事業、ひとり親支援施策事業、生活困窮者等扶助事業、高齢者在宅サービス事業
	子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている	妊娠出産子育てワンストップ事業、子育て支援センター事業、保育所等運営事業
	高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている	高齢者生きがいづくり事業、シルバー人材センター関係事務、障がい福祉サービス事業
地域・市民生活	まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない	自主防犯活動支援事業、防犯対策事業
	人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである	ごみ減量啓発事業、リサイクル推進事業、公園緑地管理事業
	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している	青少年対策事業、社会教育活動事業、区・町内会活動支援事業
	災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている	災害対策事業、消防団運営事業
	防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できており、災害時には助け合うことができる	総合治水対策事業、女性防火クラブ事業、防災啓発事業
	子どもが元気に外で遊んでいる	スポーツ振興事業、公園施設整備事業、放課後育成事業
	若い世代も地域で活動し、地域の自治力が高まっている	青少年対策事業、市民活動支援事業、区・町内会活動支援事業
	若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている	豊明夏・秋まつり支援事業、観光活性化事業
	女性が職場や地域で活躍し続けている	女性の復職支援プログラム事業、男女共同参画推進事業、保育所等運営事業
教育・歴史文化	行政や地域が発信する情報を市民が積極的に共有し、活用している	ホームページ管理事業、広報事業
	いじめや自殺、引きこもりがない	いじめ・不登校対策充実事業、重層的支援体制整備事業
	子どもが良いことと悪いことの区別ができる	青少年対策事業、子育て支援センター事業
	教育や子どもに関する予算が確保され、教育環境がよい	小中学校施設維持管理事業、図書館施設維持管理事業、公民館管理運営事業
	子どもがずっと育ってきた豊明を大好きでいる	豊明夏・秋まつり支援事業、市民文化育成事業
	すべての子どもが質の高い学びに参加し、生きるための学力が向上している	小中学校運営事業、指導力向上事業、定住外国人児童生徒支援事業、総合教育会議事務
	子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている	青少年対策事業、特別支援教育事業、障がい児福祉サービス事業、学校と地域の連携事業
	子どもが夢を持ち、将来グローバル（グローバル＋ローカル）に活躍できる人材に育っている	多文化共生推進事業、学力向上対策事業
都市基盤・産業	市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している	文化財保護事業、市史編さん事業、市民文化育成事業
	道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる	市道等維持管理業務、道路新設改良事業、交通安全施設管理・整備事業、都市計画道路整備事業
	交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している	地域公共交通活性化事業、都市計画道路整備事業
	空気がきれいである	温暖化対策推進事業、公害対策事業、新エネルギー推進事業、緑化推進事業
	日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている	農業環境保全事業、土地区画整理事業、公共施設マネジメント推進事業
	豊明市に魅力があふれ、「通過するまち」から、「足を運んでいただけるまち」になっている	観光活性化事業、友好自治体交流事業、商工業の育成振興事業
	市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている	工業団体整備事業、企業誘致事業、農業振興事業
	若い人たちが地元で働ける	創業支援事業、雇用就労対策事業
行政経営	行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている	パブリックコメント事業、広聴事業
	世代、性別などで不公平感のない予算配分や施策となっている	総合計画進捗管理事務、予算編成事務
	税収が確保され、持続可能な財政運営となっている	収納管理事務、企業誘致事業、ふるさと豊明応援寄附推進事業、公共施設マネジメント推進事業
	市職員の顧客サービス向上の意識が高く、市民のほうを見て仕事をしている	職員研修事業、ICT 推進事業、受付サービス事業
	市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている	行政改革関係事務、広域・民間連携推進事業、行政視察・政務活動事業
	市民にとって必要な情報が提供され、行政が取り組んでいることが市民に分かりやすい	ホームページ管理事業、広報事業、情報発信推進事業、議会広報広聴事務
	行政は明確な成果目標を持ち、定期的に達成度を確認し、絶えず改善している	行政評価推進事業、総合計画進捗管理事務

1. 計画の趣旨

本市における総合計画は、将来のまちづくりを総合的かつ計画的に進める長期的な市政運営のための最上位計画です。本市を取り巻くさまざまな課題解決に向けて、行政だけでなく市民や事業者など全員が一丸となって明確なビジョンを持ったまちづくりに取り組むため、総合計画を策定しています。

第5次総合計画期間における社会情勢の変化や本市におけるまちづくりの現状や課題を踏まえ、豊明市に関わる誰もがしあわせになるまちに発展させるため、より効果的で効率的な行政運営の指針となるよう、2026年度から2031年度の6年間を計画期間とする「第6次総合計画」を策定しました。

2. まちの未来像について

第6次総合計画の期間におけるまちの未来像を

「未来へつなぐ みんなでつくる しあわせのまち とよあけ」と定めました。このまちの未来像は市民意識調査や各種インタビューの結果を踏まえ、計画策定時のとよあけ未来カイギ参加者の皆さまからまちの未来像に相応しいと思うキーワードを考えていただき、そのキーワードをつなげて作成しました。



3. 市民幸福度について

本計画において、市民の幸せを政策の成果として市民が実感できるよう、最上位の指標として「市民幸福度」を設定しました。本市に暮らす市民の幸福度を10点満点の主観的評価の平均として、計画最終年度である2031年度の市民幸福度 **6.77 点以上** を目標として定めました。身体的・精神的・社会的に良好な状態であるウェルビーイングの向上を目指します。

●年代別の幸福度の回答比率と平均幸福度 ※ は各年代で最も回答比率が高い得点

とても不幸 ←  とても幸せ														
幸福度	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	合計 (%)	平均幸福度	
年代														
20代以下	0.6	0.3	0.8	1.7	4.8	19.9	12.6	25.2	16.8	6.7	9.5	100.0	6.75	
30代	0.4	0.0	0.0	4.1	7.4	18.0	9.0	20.1	20.9	6.6	13.5	100.0	6.88	
40代	0.0	1.2	2.4	2.8	3.6	21.8	9.1	22.2	19.8	5.6	10.3	100.0	6.68	
50代	0.0	1.7	0.7	3.3	4.7	25.0	8.7	19.0	21.3	6.0	8.0	100.0	6.57	
60代	0.0	0.4	1.8	0.7	4.0	23.4	12.5	17.2	22.7	6.2	9.2	100.0	6.76	
70代以上	0.0	0.4	0.7	1.9	3.3	20.1	12.6	14.5	23.4	10.4	10.4	100.0	6.99	
全体	0.2	0.6	1.1	2.4	4.6	21.5	10.8	19.9	20.6	6.9	10.1	100.0	6.77	

出典：現状値調査（2025年5月）

4. 将来人口について

全国的に人口減少が進むなか、国立社会保障・人口問題研究所によれば本市も2040年には63,000人程度まで人口が減少すると推計されています。

これに対し、本市では特に子育て世代の市外への人口流出を抑制し、市内に継続して住み続けることができる環境の整備を図るため、土地区画整理事業を推進しています。これにより道路や公園などの都市基盤の整備と良好な居住環境の創出を図ることで子育て世代が住み続けたいなるまちを目指しています。

これらの取り組みにより2031年時点で **68,000人以上** を目標として設定します。

将来人口の推移



※2015年、2020年は実績値です。

※年齢3区分別の人口は、推計値のため四捨五入の関係で合計と一致しない場合があります。

出典:国立社会保障・人口問題研究所

5. 第3期豊明市総合戦略及び第7次豊明市行政改革大綱との関係性

第2期豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び第6次豊明市行政改革大綱は第5次総合計画と連動性を図りながら、地方創生の取り組みや行政改革を進めてきました。総合計画を含めた3つの計画等が2025年度に終了したことから、より一層総合計画と連動性を高めながら一体的な運用を行うために、第6次総合計画の重点戦略として「第3期豊明市総合戦略」を、「行政推進項目」を推進するための基本的方向性を「第7次豊明市行政改革大綱」として位置付けました。

第6次総合計画と一体的な運用を行うことでより一層効果的かつ効率的なまちづくりを推進していきます。

また、附属機関についても今まで豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会、豊明市行政改革推進委員会でそれぞれ進行管理を行ってきましたが、総合計画審議会へ一本化することで、より一体的に推進していきます。



戦略1 こどもの育ちと学び創生プロジェクト(育み・学び)

めざすまちの姿
1こどもが心豊かに育ち、
子育て世代が住み続けられるまち

単位施策

こども支援

子育て支援

保 育

めざすまちの姿
2多様性を尊重した学びの場が広がり、
子どもたちが一人残らず心満たされるまち

単位施策

学校教育

教育施設

子どもの居場所づくり

戦略2 暮らしの安心創生プロジェクト(支えあい)

めざすまちの姿
3医療や介護の環境が整っており、
誰もが安心して暮らせるまち

単位施策

健康保険

福祉医療

介護保険

めざすまちの姿
4人と人が寄り添い、
つながりながら支えあうまち

単位施策

高齢者福祉

障がい福祉

地域福祉

めざすまちの姿
5

誰もが健康で楽しく活動できるまち

単位施策

健康推進

生涯学習・図書

文化・スポーツ

戦略3 安全で快適な地域環境創生プロジェクト(住みやすさ)

めざすまちの姿
6お互いを尊重し、それぞれの個性や強みを
活かしてつながりあえる安全安心なまち

単位施策

協働・参加・共創

ダイバーシティ

防災・強靱化

交通・防犯

めざすまちの姿
7気軽に外出でき、
生活しやすいきれいなまち

単位施策

環 境

ご み

公共交通

めざすまちの姿
8いつまでも住み続けられる、
安全で快適なまち

単位施策

公園・緑地

道 路

土地利用・住宅

下 水 道

河川・ため池

戦略4 ひとが集うまち創生プロジェクト(賑わい)

めざすまちの姿
9歴史や文化が受け継がれ、
地元愛あふれ訪れたいまち

単位施策

観 光

歴史・伝統文化

めざすまちの姿
10自分らしく働く場所があり、
産業が盛んな活気あるまち

単位施策

商 工 業

農 業

行政推進項目

1

市民サービスを
向上する

2

情報収集と
発信を積極的に行う

3

効果的・効率的な
行政運営を行う

4

健全な
財政運営を行う

5

働きやすい
環境づくりと
人材育成を
推進する

6

公正な
行政運営を保つ

「2026 年度とよあけ未来カイギ」を開催しました！

～ 第6次豊明市総合計画進行管理のための市民ワークショップ 開催レポート ～

2026 年7月 11 日(土)9 時半～正午、豊明市役所で「2026 年度とよあけ未来カイギ」を開催しました。このワークショップは、昨年 12 月に議決・策定された第6次豊明市総合計画(2026～2031 年度)を市民の目線から進行管理することを目的に、毎年1回開催されるものです。

今回は、今年3月に実施した「まちづくりアンケート」にお答えいただいた方のうち希望された方に加え、昨年度まで第6次総合計画の策定の一環として実施した、市民ワークショップおよび市民活動団体インタビューの参加者の皆さまに参加いただきました。以下、当日の様子をご紹介します。

■開会・あいさつ

開会にあたり、市長からあいさつがありました。市長は、「今日はワークショップを楽しみ、周りの意見を尊重しつつ、ご自身がまちづくりについて言いたいことをしっかり主張してください。」とのお願いがありました。



■総合計画の概要とまちづくりアンケート結果(一部)について事務局から説明

続いて事務局より、本日の会議の趣旨説明並びに情報提供がありました。

現在、推進している第6次総合計画の構成・記載内容や今後の進行管理の手順等が説明されました。



■アイスブレイクで和やかな雰囲気

多様な参加者の皆さまが初めて顔を合わせることから、グループの距離を縮めるため、「暑くなる前にしたい事」をテーマにした自己紹介と、グループ対抗でのミニゲームを行いました。

■グループワーク①

「わたしが市長になったら〇〇やります！」

アイスブレイクの後、「わたしが市長になったら〇〇やります！」と題して、豊明市でやりたい事、やってほしい事などのアイデアをカードに書いて、出し合いました。



カードを並べながら、お互いにアドバイスや追加アイデアを出す意見交換をグループ内で行い、お一人ずつイチ押しのアイデアを「マイ・アイデアシート」に記入し、皆さまに向けて発表していただきました。

■グループワーク②「アイデアを掘り下げ、提言しよう！」

続いて、興味・関心が共通する参加者同士でチームを再編成していただき、「マイ・アイデアシート」の内容を組み合わせたり、さらに掘り下げたりして、具体的な提言を作成していただきました。

最後にはチームごとに、提言を紙芝居風にまとめて発表をしていただきました。以下に、それぞれの概要をご紹介します。



タイトル	概要
営業力ある 豊明市	・豊明インターチェンジや開通した名古屋岡崎線など広域の利便性を活用して、もっと多くの企業を誘致し、雇用確保&財政を豊かにし、すべての人が豊明を好きになる！
高齢者や障がい者に優しい情報発信	・必要な情報・イベント情報が伝わらないことから、伝達方法を多様化し、お互いに手助けし合える、豊かな楽しい人生が送れるようなまちにしたい！
全市民参加型イベントの開催	・老若男女が楽しんで盛り上がるには「盆踊り」！花であふれる多目的広場で徹夜踊りや参加率でギネス挑戦、オリジナルグッズのガチャガチャ販売などをしたい！
二村山地下鉄駅 化整備構想	・二村山を公園としてリニューアルし、地下鉄駅、森のカフェ・パン屋、図書館などを集めてはどうか？日本一図書館が多いまちを目指すのも！
魅力ある 公園づくり	・市内には小さな公園がたくさんあるが大きな運動公園はなく、ちょっと物足りない。既存の公園を活用するとともに、アスレチックがあるような総合公園をつくり、すべての市民が楽しく健康に過ごせるまちを目指す！

■お礼のあいさつ・閉会

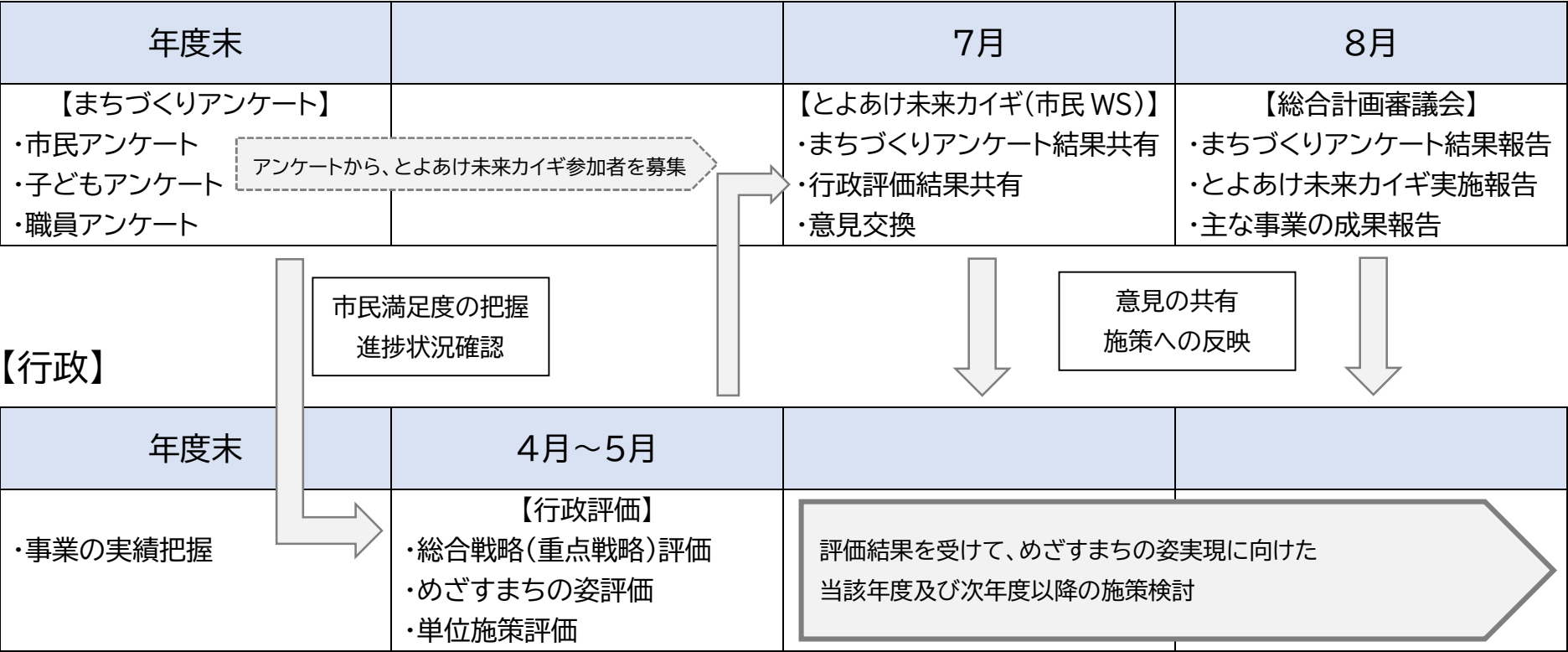
閉会にあたり、市長からご参加の皆さまにお礼を申し上げ、引き続き市政へのご参加・ご協力をお願いしました。「とよあけ未来カイギ」にご参加・ご協力いただいた皆さまには厚く御礼申し上げます。



進行管理の主なスケジュール

資料6

【市民参画】



2026年度より開始した第6次総合計画における市の経営的施策「行政推進項目」を推進するための基本的方向性を「第7次行政改革大綱」として位置付け、総合計画と行政改革の連動性を高め、一体的な運用を行うことで必要な改革を推進していきます。

行政改革推進プランは、第7次行政改革大綱の実施方針における4つの基本的方向性「組織・人材のマネジメント」、「公共施設マネジメント」、「部内マネジメント」、「デジタル技術・データの活用」に重点を置き、将来にわたる市の行政資源等の長期的な適正化に資する取組を推進するための実施計画です。また、行政改革推進プランについては、今後の社会情勢やその他行政を取り巻く諸要因の変化に対応して見直すことを可能とするため、前期と後期に分けて行政改革の推進を行います。

行政推進項目との関連

行政推進項目	柱Ⅰ ヒトの最適化	柱Ⅱ モノの最適化	柱Ⅲ カネの最適化	柱Ⅳ 情報の有効活用
1.市民サービスを向上する	●	●		●
2.情報収集と発信を積極に行う	●			●
3.効果的・効率的な行政運営を行う	●	●		●
4.健全な財政運営を行う		●	●	
5.働きやすい環境づくりと人材育成を推進する	●			●
6.公正な行政運営を保つ	●			●

第7次豊明市行政改革大綱

- ①組織・人材のマネジメント 「ヒトの最適化」
- ②公共施設マネジメント 「モノの最適化」
- ③部内マネジメント 「カネの最適化」
- ④デジタル技術・データの活用 「情報の有効活用」

実施計画

行政改革推進プラン

前期推進プラン
2026 年度～2028 年度
後期推進プラン
2029年度～2031年度

計画期間

年度	2026	2027	2028	2029	2030	2031
第6次総合計画	一体的に推進					
行政改革大綱						
推進プラン	前期			後期		

民間活用・DX を核とした持続可能な豊明市(人材・施設・サービス)への再構築

①組織・人材のマネジメント

1. 時代の変化に合わせた市民サービス、職員の働き方の見直し

窓口における開庁時間の変更や、「待たせない窓口」実現のための窓口の優先予約、通年輕装を可能とした「とよあけさわやかビズ」など市の仕組み、仕事のやり方、市民との関わり方そのものを、ゼロから見つめ直し、未来の持続可能豊明市にふさわしい形へと市民・職員双方の観点から再構築を行います。また、これらの改革は、役職や経験に関わらず、すべての職員が自由に提案し行政経営に参画できるボトムアップの体制に支えられており、引き続き職員一人ひとりの挑戦意欲と仕事へのやりがいを育みます。

2. 業務量調査及び BPR の実施

各課における業務量を調査し、可視化します。またその上で BPR(業務フローの見直し)を実施することで、業務の最適化目指します。必要に応じて手続きのデジタル化、AI(人口知能)、RPA(業務の自動化)などのデジタル実装を行い、職員が真に必要な行政サービスに注力できる状態を目指します。

②公共施設マネジメント(重点取組事項)

公共施設等総合管理計画・公共施設適正配置計画・個別施設計画等の改定

2024年度に公共施設の長寿命化において、「状態監視保全」を基本とした予防保全を採用する方針を決定しました。公共施設の適切な維持管理を行うため、部位、設備の劣化状況を適時適切に把握し、修繕の必要性を順位付けして、適切なタイミングで更新していきます。また、2025年度には公共施設等の状況分析調査を行い、公共建築物のライフサイクルコストの算定等を実施しました。これらを踏まえ、2026年度に公共施設等総合管理計画の見直しを行います。2028年度には公共施設適正配置計画の見直しを行い、今後必要となる施設の再編や縮充等に向けて方針を策定します。なお、建設・維持管理運営の検討の際は市の民間活用事業の優先的検討規程に基づき従来手法と比較して効果的である場合は、民間活用事業(民間資金やノウハウを活用した公共施設整備等の手法)の導入を行います。

年度	2024	2025	2026	2027	2028
公共施設長寿命化方針	策定	実施計画への反映・実施			
公共施設等総合管理計画	実施・適宜改訂		改訂	実施・適宜改訂	
公共施設適正配置計画	実施・適宜改訂				改訂

③部内マネジメント

1. あらゆる資金の活用

国県補助、交付税措置のある有利な起債等については引き続き活用を推進し、PFI(民間資金を活用した整備)、PFS(成果報酬型の業務委託)など民間資金の活用についても積極的な検討を行うほか、市の PR を強化し、企業版ふるさと納税の活用による寄附受入強化など「稼ぐ自治体」を目指します。

2. 業務改善提案の実施

職員が気軽に提案できる、業務改善提案を毎年度行うことで、施策立案や事務事業の改善・廃止へとつなげ、適切な予算執行を目指します。

④デジタル技術・データの活用

1. 行政手続きのオンライン化及び AI 活用の強化

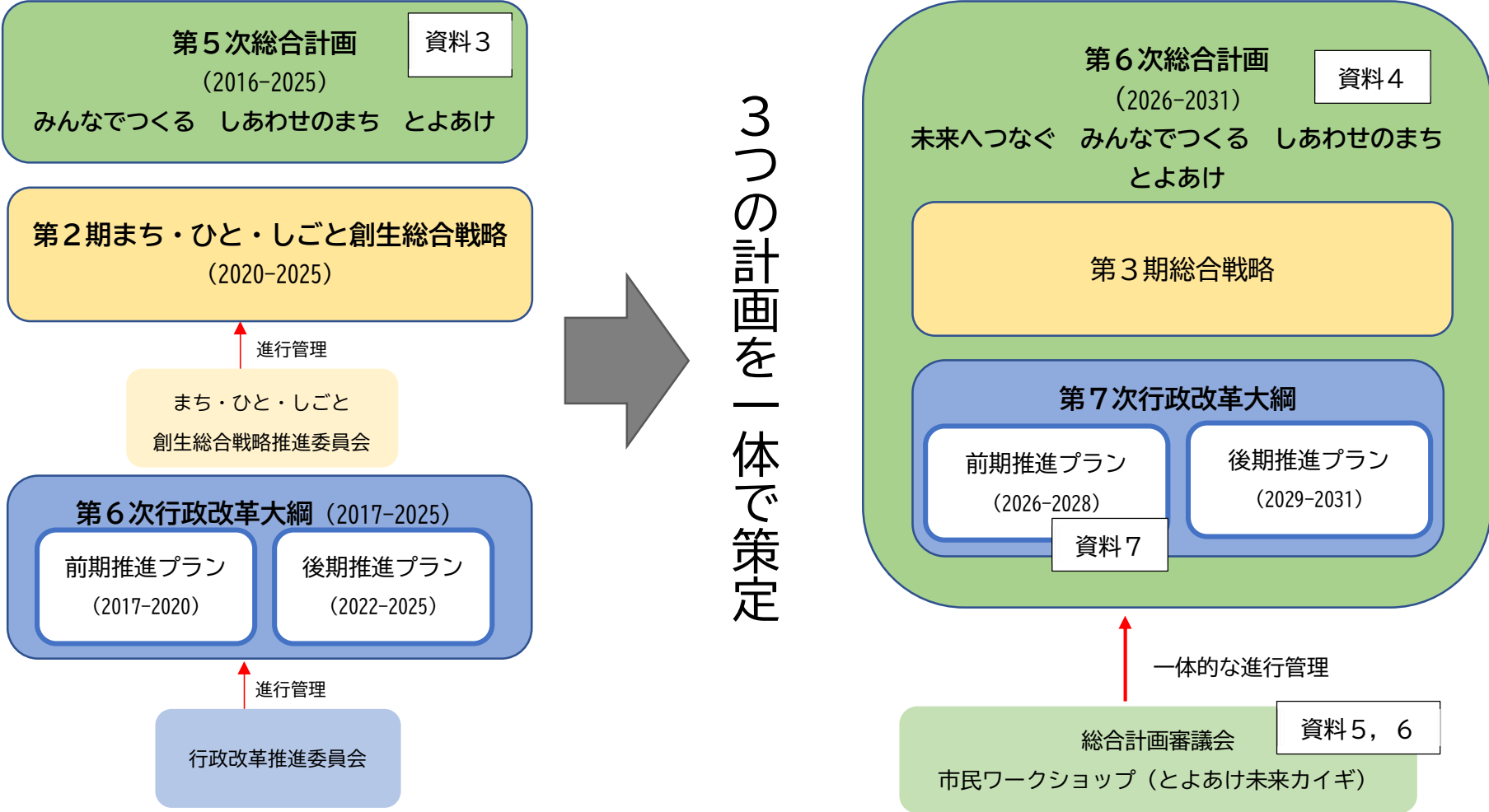
LINE を活用した行政手続きのオンライン申請やキャッシュレス決済の導入などを行い、窓口に行く負担や手続きに要する時間などの解消を目指して、「行かなくてもいい窓口」の推進を行っています。現在試行実施中の窓口開庁時間の変更なども含め、それに合わせたさらなる行政手続きのオンライン化を進めていきます。

また、生成 AI を活用した取り組みを重点取組事項とし積極的な導入を目指します。一方で AI のツールとしての有益性は維持しつつ、AI に依存することなく職員自ら決定できるよう庁内の意識づけを図っていきます。

2. 情報発信の充実

各施策により、LINE の友だち登録者数の増加が見込まれることから、LINE を中心とした SNS による情報発信を強化します。LINE によるセグメント配信の導入や、プッシュ型での情報発信により、市民が必要とする情報を迅速かつ効果的に提供します。また、情報発信においては、時代の変化に合わせて、若者を含めたあらゆる世代において見やすく届きやすいショート動画の活用や、分かりやすい画像など、受け取り手に合わせた発信手法を研究し、様々な方法での発信を目指します。

第5次総合計画から第6次総合計画への流れ及び全体像



【各種計画の概要】

- 総合計画：将来のまちづくりを総合的かつ計画的に進める長期的な市政運営のための最上位計画
- 総合戦略：人口減少や地域産業の活性化など地方創生に関する計画
- 行政改革大綱：より効果的・効率的な行政経営を行うための基本方針

めざすまちの姿			まちづくり指標		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	備考	目標 達成	主管課 関係課	
					H26年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R7年度				
健康福祉	1	子ども、高齢者、障がい者等への虐待やDVがない	1	主観	虐待やDVなどが起こらないように見守る地域のネットワークができていてと思っている市民の割合（％）	23.1	29.7	25.1	16.2	30.1	27.5	33.1	27.3	30.4	30.9	29.8	49.5	○	子育て支援課 秘書広報課 長寿課 地域福祉課 学校教育課	
			2	客観	虐待、DVの件数（件）	1,685	1,928	2,203	1,833	1,640	1,606	1,951	2,155	1,928	1,722	2,347	1,909	相談件数		◎
			3	主観	虐待やDVなどに遭遇したときにためらいなく通報できている市民の割合（％）	59	92	61	67	50	65	84	32	39	80	115	29	認定件数		△
			4	主観	まわりに助けを求めることができる人がいる子ども、高齢者、障がい者等の割合（％）	85.7	83.6	83.4	83.6	85.2	82.4	84.9	83.1	85.4	83.8	85.5	94.1	子ども		△
						59.7	73.2	62.4	54.4	62.8	58.3	61.6	60.5	62.2	56.5	62.2	75.6	高齢者		○
						70.9	69.2	73.0	75.3	74.5	72.6	77.7	73.6	74.1	72.5	78.7	85.3	障がい者		○
	2	多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心して暮らしている	1	主観	医療や福祉施設、制度の利用者の満足度（％）	49.6	54.9	56.2	49.1	63.9	64.7	62.5	55.9	60.4	60.6	68.6	67.7	◎	長寿課 地域福祉課 健康推進課 保険医療課 子育て支援課	
			2	客観	利用できる医療施設、福祉施設の数（施設）	143	171	161	155	169	169	176	188	192	190	190	173	◎		
			3	客観	医療や福祉分野における連携プロジェクトの数（事業）（具体的な事業数のため運営協議会等は除く）	2	5	5	2	4	4	6	9	10	9	8	11	○		
	11	子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている	1	主観	スポーツをするために必要な情報が得られている市民の割合（％）	30.4	39.1	39.6	37.7	39.8	38.5	37.1	37.0	39.7	39.3	40.2	58.7	○	健康推進課 長寿課 生涯学習課	
			2	主観	スポーツを教えてくれる人がいると思う市民の割合（％）	24.6	29.4	30.4	26.2	31.3	27.6	26.6	26.4	29.3	27.5	26.5	46.4	○		
			3	主観	スポーツを楽しむことができて市民の割合（％）	37.1	39.6	39.2	36.4	36.8	35.7	37.6	37.7	40.0	35.4	38.4	58.9	○		
			4	客観	医療機関にかかっていない市民の割合（％）	15.2	14.1	11.1	16.5	14.5	17.6	16.8	16.3	14.3	14.3	12.9	29.2	△		
	12	元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができて </td <td>1</td> <td>主観</td> <td>近所の高齢者がいきいきしていると思っている市民の割合（％）</td> <td>54.9</td> <td>60.2</td> <td>57.6</td> <td>62.2</td> <td>63.5</td> <td>63.3</td> <td>61.9</td> <td>54.3</td> <td>62.8</td> <td>59.1</td> <td>63.8</td> <td>71.4</td> <td>○</td> <td rowspan="3">長寿課 共生社会課 産業支援課 生涯学習課</td>	1	主観	近所の高齢者がいきいきしていると思っている市民の割合（％）	54.9	60.2	57.6	62.2	63.5	63.3	61.9	54.3	62.8	59.1	63.8	71.4	○	長寿課 共生社会課 産業支援課 生涯学習課	
			2	主観	人生が楽しいと感じている高齢者の割合（％）（65歳以上）	75.2	87.8	78.3	71.5	74.6	72.0	72.0	72.9	76.7	72.4	74.6	85.7	△		
			3	主観	老後の生き方に夢があると思っている若者の割合（％）（50代以下）	18.4	14.8	23.2	19.9	23.1	26.0	27.8	25.1	23.5	25.5	27.9	40.3	○		
	15	誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができて </td <td>1</td> <td>客観</td> <td>1日1回以上家族以外の人と会話をしている市民の割合（％）</td> <td>71.3</td> <td>68.1</td> <td>67.0</td> <td>72.8</td> <td>64.8</td> <td>62.9</td> <td>61.9</td> <td>64.8</td> <td>65.8</td> <td>65.7</td> <td>69.1</td> <td>84.9</td> <td>△</td> <td rowspan="3">地域福祉課 秘書広報課 共生社会課 長寿課 産業支援課 農業政策課 学校教育課 生涯学習課</td>	1	客観	1日1回以上家族以外の人と会話をしている市民の割合（％）	71.3	68.1	67.0	72.8	64.8	62.9	61.9	64.8	65.8	65.7	69.1	84.9	△	地域福祉課 秘書広報課 共生社会課 長寿課 産業支援課 農業政策課 学校教育課 生涯学習課	
			2	主観	日常の中で困っている人に声掛けができて市民の割合（％）	44.3	49.5	47.7	43.5	38.5	36.7	42.0	44.6	45.7	43.1	43.2	63.4	△		
			3	主観	地域から孤立していないと思っている市民の割合（％）	75.8	78.7	76.6	81.4	79.7	79.8	79.6	78.6	78.9	78.8	81.7	87.0	○		
	16	支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない	1	主観	介護で困ったときに助けを求めることができる友だちや専門機関があると思う家族の割合（％）	57.0	62.1	57.7	58	63.6	62.2	61.3	61.8	59.8	62.3	65.4	74.6	○	地域福祉課 長寿課 保険医療課 子育て支援課	
2			客観	1週間のうち1回は自分の時間をもっている家族の割合（％）	69.0	67.5	62.3	72.2	79.5	70.5	73.5	62.3	67.7	67.1	65.5	83.4	△			
3			主観	支援が必要になったときに活用できるサービスを知っている市民の割合（％）	40.7	43.6	43.5	37.7	44.3	42.1	42.0	42.3	44.0	46.8	45.9	69.0	○			
28	子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている	1	主観	子育てが楽しいと思っている市民の割合（％）	84.5	73.2	84.5	81.6	83.4	76.3	90.2	82.3	85.9	80.5	84.3	92.3	△	子育て支援課 共生社会課 健康推進課 こども保育課 保険医療課 産業支援課 都市計画課 学校教育課		
		2	客観	0～14歳の子どもの数(人)	9,749	9,052	8,964	8,789	8,732	8,659	8,548	8,469	8,366	8,212	8,066	10,445	△			
		3	客観	豊明市の出生率(人)	8.1	8	7.7	8.0	8.0	7.1	7.7	7.0	7.0	6.6	5.8	10.1	△			
		4	客観	市内にある小児科、産婦人科の数(施設)	3	4	7	5	5	5	5	5	5	5	4	6	○			
33	高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている	1	主観	自分の働き方に満足している高齢者、障がい者の割合（％）	87.7	81.9	85.9	88.3	89.1	61.8	82.4	77.9	89.1	82.8	86.3	92.6	高齢者	△	長寿課 地域福祉課 産業支援課	
					64.2	7550.0%	72.7	73.6	74.8	79.0	71.3	69.7	68.1	66.7	70.4	75.9	障がい者	○		
		2	客観	高齢者、障がい者を雇用している企業・事業所数(力所)	49	46	46	46	47	46	46	50	44	42	48	71	△			
					55.4	41.3	62.6	55	52.3	56.0	47.7	55.6	51.3	49.2	48.9	69.8	高齢者	△		
		3	主観	働く意欲をもっている高齢者、障がい者の割合（％）	70.3	5630.0%	56.4	68.4	65.2	65.2	68.6	70.3	68.3	67.0	64.4	81.4	障がい者	△		
					86.3	81.0	79.8	78.4	82.2	54.5	75.8	75.0	88.2	72.0	83.8	91.9	高齢者	△		
4	主観	自分の経験や知識を活かすことができていると思う高齢者、障がい者の割合（％）	63.5	7230.0%	71.9	69.6	70.9	66.7	74.8	64.4	62.4	67.5	65.9	73.3	障がい者	○				

地域・市民生活	3	まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない	1 客観	自主防犯ボランティア団体の登録数（団体）	61	64	66	66	66	67	70	69	65	65	63	81	○	防災防犯対策課 都市計画課
			2 客観	犯罪発生件数（件）	833	660	493	514	360	282	256	275	396	409	514	302	○	
			3 主観	この1年で、市内で怖い思いをしたことのある市民の割合（％）	6.0	7.5	4.7	5.2	5.1	5.0	6.1	6.7	6.0	7.6	7.2	3.4	△	
	6	人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである	1 主観	まちがきれいだと感じている市民の割合（％）	59.3	65.6	65.4	64.4	68.7	68.3	67.5	64.1	67.7	65.8	72.6	75.2	○	共生社会課 都市計画課 環境課
			2 客観	アダプトプログラム（公園、道路、河川等の清掃美化ボランティア活動）参加者に配布したゴミ袋の枚数／年間（枚）	1,150	1,180	910	510	1,110	1,200	1,570	1,642	1,110	1,060	1,550	1,560	○	
			3 主観	積極的に清掃活動に参加している市民の割合（％）	43.6	45.2	45.1	40.5	41.2	40.5	37.4	39.6	40.6	40.8	39.9	62.0	△	
	17	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している	1 客観	地域の活動に参加している子どもの割合（％）	72.1	71.9	69.0	68.4	68.4	62.7	54.6	65.3	68.0	66.7	72.3	83.5	○	共生社会課 子育て支援課 学校教育課 生涯学習課
			2 主観	地域に愛着をもち、地域の活動に参加している大人の割合（％）	63.7	73.7	74.3	74.1	71.6	72.4	74.0	71.7	75.1	72.1	74.7	77.5	○	
			3 客観	近所で5人以上の大人の名前が言える子どもの割合（％）	50.4	44.8	45.5	40.9	41.4	36.6	33.8	37.4	37.3	32.5	36.0	69.5	△	
	18	災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている	1 客観	一年間に防災訓練に参加した団体の数（団体）	30	36	36	36	47	24	27	36	36	50	63	58	◎	防災防犯対策課
			2 客観	他自治体及び民間との災害に関する協定の数（件）	48	55	62	63	64	74	76	77	80	87	91	74	◎	
			3 主観	災害時に備えて行政・民間の情報共有ができていていると思う市民の割合（％）	31.5	34.8	32.2	27.3	36.2	35.4	35.2	37.0	30.6	34.1	42.5	57.1	○	
	19	防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できており、災害時には助け合うことができる	1 客観	家庭で防災対策をしている市民の割合（備蓄・避難場所の確認など）（％）	57.2	58.1	57.0	52.8	60.8	59.7	59.4	62.5	57.9	69.1	69.6	77.4	○	防災防犯対策課 土木課 都市計画課
			2 主観	普段から地域で災害時の対応について話し合っている市民の割合（％）	28.4	30.1	30.3	26.9	28	28.0	27.6	25.2	26.7	28.5	31.9	54.6	○	
			3 客観	実体験できる講習の回数（応急手当、初期消火など）／年間（回）	344	371	478	190	132	87	24	112	132	140	118	168	△	
			4 主観	火災に備えて住宅用火災警報器が設置してある割合（％）	71.0	74.7	66.8	66.7	72.3	73.8	74.2	76.1	72.2	71.5	75.9	89.1	○	
	20	行政や地域が発信する情報を市民が積極的に共有し、活用している	1 主観	必要な情報を得るための手段をわかっている市民の割合（％）	40.3	48.3	46.2	44.2	45.9	50.1	47.4	51.8	51.0	54.1	56.7	64.3	○	共生社会課 秘書広報課
			2 主観	この1年間で、地域の人同士で、まちのことについて意見交換した市民の割合（％）	19.6	21.6	13.9	14.1	15.3	12.9	9.4	14.0	14.3	14.1	17.7	39.9	○	
			3 客観	市長への手紙・Eメールの件数（件）	111	169	169	178	194	256	223	222	161	151	412	227	◎	
			4 主観	行政や地域の情報を得て、イベントや集まりに参加している市民の割合（％）	45.8	37.9	37.0	34.9	32.1	19.6	17.4	28.7	34.8	29.9	36.4	63.8	△	
	29	子どもが元気に外で遊んでいる	1 主観	自由に楽しく体を動かしていると思う子どもの割合（％）	56.2	54.4	54.4	50.7	55.9	50.8	51.6	59.2	61.2	56.1	59.8	74.6	○	共生社会課 防災防犯対策課 健康推進課 こども保育課 子育て支援課 都市計画課
			2 主観	子どもが外で元気に安全に遊べると感じている保護者の割合（％）	35.1	43.1	40.9	43	43.3	44.0	45.9	48.9	53.1	51.3	53.2	57.9	○	
			3 主観	子どもが元気に外で遊んでいると思う市民の割合（％）	39.0	48.2	42.6	43.6	46.2	49.9	51.3	41.6	47.7	42.3	45.6	60.2	○	
	34	若い世代も地域で活動し、地域の自治力が高まっている	1 客観	地域の活動に参加している若者の割合（％）	67.8	34.5	60.3	55.3	54.8	50.8	56.8	52.8	53.8	54.8	56.4	79.4	△	共生社会課 企画政策課 防災防犯対策課 学校教育課 生涯学習課
			2 主観	自分たちの考えが地域の活動に取り入れられていると思う若者の割合（％）	11.1	17.7	13.4	12.5	16.1	15.0	15.0	13.7	14.8	11.2	19.4	34.0	○	
			3 主観	若い世代の地域での活動を尊重し、応援している65歳以上の人の割合（％）	57.0	73.2	62.9	55.9	60.7	56.3	58.7	59.5	64.6	61.6	66.0	73.2	○	
			4 客観	町内会の加入率（％）	78.0	76.2	75.2	73.8	72.5	72.2	74.7	74.7	72.4	69.9	68.5	72.5	△	
	35	若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている	1 主観	豊明が大好きな若者の割合（％）	74.0	62.5	72.1	64.4	66.6	67.7	79.6	71.0	72.3	72.3	74.0	85.4	○	共生社会課 企画政策課 防災防犯対策課 産業支援課
			2 主観	まちづくりに参加できていると感じている若者の割合（％）	16.2	19.8	11.9	13.6	10.7	10.8	14.3	12.6	15.6	13.9	16.1	36.7	△	
			3 客観	市民提案型まちづくり事業交付金の交付団体数（団体）	11	10	9	8	10	11	9	9	13	16	16	21	○	
	36	女性が職場や地域で活躍し続けている	1 主観	職場で働きやすいと感じている女性の割合（％）	35.4	35.5	38.9	42.6	50	46.2	40.2	42.2	44.7	45.8	47.7	56.7	○	共生社会課 長寿課 こども保育課 子育て支援課 産業支援課 都市計画課 学校教育課
			2 客観	育児休暇後に継続して働き続けている女性の割合（％）	70.9	68.5	75.2	74.3	72.3	77.9	78.1	63.8	73.4	84.3	80.0	82.3	○	
			3 客観	市内企業における女性管理職の割合（％）	10.2	10.1	14.5	8	11.9	7.8	9.6	12.1	9.9	9.6	11.0	24.4	○	
			4 客観	町内会長・区長に占める女性の割合（％）	6.0	10.3	12.6	16.1	16.1	10.3	11.1	10.8	16.8	15.4	17.4	18.8	○	
			5 客観	男性の育児（介護）休暇取得者数（人）	1	6	18	9	11	28	23	27	28	68	39	18	◎	
			6 客観	男性一人あたりの平均1日家事時間（分）	70.6	85.9	84.9	49.3	90.5	86.1	50.0	56.6	52.3	51.3	52.2	110.1	△	

教育・歴史文化	4	いじめや自殺、引きこもりがない	1	主観	学校以外の習い事やグループで友達ができた子どもの割合（％）	83.2	80.6	80.0	80.0	85.2	77.7	76.9	74.5	79.2	77.2	80.0	90.1	△	学校教育課 地域福祉課	
			2	客観	不登校の子どもの数（人）	87	75	75	78	81	95	132	176	203	175	187	49	△		
			3	客観	学校でのいじめ件数（件）	85	47	90	52	61	59	45	53	77	54	73	48	○		
			4	客観	市内の自殺者数（人）	12	11	11	6	12	8	8	11	16	10	5	5	◎		
	5	子どもが良いことと悪いことの区別ができる	1	主観	よその子どもを褒めたり注意したりできる市民の割合（％）	53.7	52.4	53.6	47.9	49.8	51.6	49.0	45.0	45.9	46.7	42.5	71.8	△	生涯学習課 子育て支援課 学校教育課 図書館	
			2	主観	良いことと悪いことの区別ができていると思う子どもの割合（％）	79.8	80.1	78.2	81.6	83	82.6	81.7	87.9	88.6	87.9	89.3	89.0	◎		
			3	主観	親子のコミュニケーションがとれていると思う親の割合・子どもの割合（％）	91.1 87.9	93.6 82.0	92.3 80.1	93.6 80.6	92.5 83.2	94.9 82.4	95.2 85.3	96.5 83.7	95.3 86.8	93.9 87.1	95.0 89.0	96.3 93.8	保護者 子ども		○ ○
			4	主観	悪いことをしている友達などを見たときに注意できる子どもの割合（％）	54.6	59.2	54.9	59.2	62.3	58.7	63.1	68.8	68.8	63.9	63.3	72.2	○		
			5	客観	子どもの補導件数（件）	742	438	270	213	150	193	356	321	381	381	-	120	-		○
	13	教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい	1	主観	子どもにとって必要な教育環境が整っていると思う市民の割合（％）	44.3	53.9	51.2	47.5	55.3	56.9	54.9	53.3	42.4	53.2	55.7	64.8	○	学校教育課 企画政策課 財政課 公共施設管理課 生涯学習課 図書館	
			2	主観	子どもにとって必要などころに予算配分がされていると思う教育関係者の割合（％）	13.1	18.0	22.0	33.7	36.2	49.0	49.5	51.7	49.3	53.8	58.9	38.7	◎		
			3	客観	歳出の内、教育や子どもための予算の割合	3,479 19.5	4,296 2180.0%	4,207 21.6	4,140 20.7	4,874 24.3	5,129 25.2	5,272 24.0	5,004 22.0	5,104 22.2	5,742 23.1	7,140 24.5	(百万円) 23.2（％）	◎		
	14	子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる	1	主観	自然が大切にされていると思っている市民の割合（％）	64.8	70.9	69.3	64.7	71.3	71.3	73.0	66.7	69.8	66.1	68.2	76.9	○	生涯学習課 秘書広報課 企画政策課 共生社会課 産業支援課 学校教育課 図書館	
			2	主観	豊明を自慢できる市民の割合（％）	39.3	47.1	40.7	44.7	45.4	46.9	48.4	40.8	43.4	44.8	46.5	59.1	○		
			3	客観	ふるさと納税の件数と金額	2	2,663	1,593	1,743	1,383	1,885	1,368	1,467	918	1,010	866	3,000（件）	○		
						12	35,168	21,325	22,599	24,340	24,559	19,668	21,133	16,338	24,159	17,334	43,000（千円）	○		
	21	市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している	1	主観	（この1年で）市外の人に豊明の歴史・伝統・文化の展示会やイベント等を伝えたことのある市民の割合（％）	20.5	21.6	16.9	13.4	15.7	12.5	11.9	15.6	14.5	13.3	19.5	41.1	△	生涯学習課 共生社会課 産業支援課 図書館	
			2	主観	高校生・大学生が歴史・伝統・文化を通して人とつながっていると思っている市民の割合（％）	12.9	16.0	12.6	12.4	16.6	16.4	19.0	18.2	16.8	18.4	19.2	31.6	○		
			3	主観	自発的に文化を創造できるような環境が豊明にあると思っている市民の割合（％）	16.5	20.0	19.1	13.5	19.5	19.5	20.9	19.3	20.6	23.0	25.1	33.6	○		
			4	主観	豊明の歴史・伝統・文化に誇りをもっている市民の割合（％）	45.7	50.8	46.4	47.6	47.7	48.2	49.9	43.3	44.7	39.1	49.5	64.1	○		
	30	子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている	1	主観	一人ひとりの個性や違いを受け入れていると思う市民の割合（％）	84.4	87.2	85.5	86.3	87.3	87.0	88.5	88.8	88.8	88.0	89.7	90.3	○	生涯学習課 子育て支援課 学校教育課	
			2	客観	子どもが参加できる教室やサークルの数(個)	33	30	30	35	34	30	56	55	66	56	62	53	◎		
			3	主観	積極的に自分の好きなことを見つけて取り組んでいる子どもの割合（％）	84.9	84.8	84.6	85.1	86.2	84.0	86.3	89.4	90.6	89.8	90.7	90.9	○		
			4	主観	子どもの行動に対して親の価値観でコントロールしていない親の割合（％）	35.4	36.1	36.5	37.2	37.6	39.3	43.9	40.2	40.4	39.8	39.4	53.9	○		
	37	子どもが夢を持ち、将来グローバル(グローバル+ローカル)に活躍できる人材に育っている	1	主観	将来に夢をもっている子どもの割合（％）	68.9	68.1	64.4	62.7	62.7	61.7	60.9	65.2	59.6	63.3	63.6	82.2	△	学校教育課 共生社会課 生涯学習課	
			2	主観	自分の地域や国のことに誇りを持っている市民の割合（％）	55.9	64.9	58.5	60.7	61.7	62.6	64.4	60.5	63.4	62.3	70.7	73.2	○		
			3	主観	いろんな国の人々とコミュニケーションをとうとうとしている市民の割合（％）	30.4	36.0	34.1	31.9	35.8	37.5	36.8	41.4	40.2	35.4	43.0	51.2	○		
			4	主観	豊明市で育った人が活躍していると思う市民の割合（％）	22.2	29.5	26.5	21.7	27.4	27.0	28.7	28.4	24.7	29.4	31.3	40.2	○		
	38	すべての子どもが質の高い学びに参加し、生きるための学力が向上している	1	主観	学校で学ぶことが楽しいと思う子どもの割合（％）	66.6	68.4	69.4	61.9	72.1	67.2	68.9	76.6	77.2	74.2	76.8	81.7	○	学校教育課 秘書広報課 生涯学習課	
			2	主観	悪いことを正されたり、いいところを褒められたりして自分の行動が変わったと感じる子どもの割合（％）	76.6	77.4	79.7	78.3	82.9	81.3	79.8	86.4	86.4	86.6	87.7	86.2	◎		
			3	主観	学習と日常生活につながりを感じている子どもの割合（％）	77.1	78.0	76.9	74.9	77.1	77.2	79.5	84.4	82.9	80.8	84.7	86.1	○		
			4	主観	授業から置いてけぼりになっていない子どもの割合（％）	57.4	59.7	59.6	55.4	63.2	55.3	57.0	57.8	59.8	52.2	52.6	75.1	△		
			5	主観	前よりも勉強や運動ができるようになったと思う子どもの割合（％）	79.7	83.4	79.8	80.7	82.9	81.4	80.1	86.2	83.0	86.0	85.5	88.3	○		
			6	客観	学校生活に満足している子どもの割合（％）	53.0	小学校 50 中学校 57	小学校 53 中学校 53	小学校 52 中学校 52	小学校 57 中学校 52	小学校 57 中学校 52	小学校 61 中学校 49	小学校 59 中学校 53	小学校 59 中学校 53	小学校 59 中学校 55	小学校 58	72.7	○ ○		

都市基盤・産業

都市基盤・産業

7	道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる	1	主観	交通マナーが良くなったと思う市民の割合（％）	39.1	43.0	40.7	41.4	47.8	47.6	47.6	47.2	50.9	50.7	51.4	58.9	○	土木課 防災防犯対策課 都市計画課	
		2	主観	安全に通行するための適切な交通規制や対策があると思う市民の割合（％）	39.1	46.1	42.7	46.2	46.9	50.9	49.8	44.7	50.1	52.0	51.6	57.8	○		
		3	主観	道路がスムーズに走れると感じる市民の割合（％）	40.1	41.1	38.0	38.0	43.4	39.9	35.3	40.4	38.6	38.6	37.4	60.1	△		
		4	客観	交通事故発生件数(歩行者・自転車・自動車)（件）	403	358	431	410	274	197	194	160	166	195	209	265	◎		
8	交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している	1	主観	交通アクセスが良くなったと思う市民の割合（％）	59.3	56.5	58.8	61.7	63.8	63.8	65.1	62.4	62.8	63.8	65.5	73.2	○	都市計画課 企画政策課 防災防犯対策課	
		2	客観	豊明3駅の年間利用者数(千人)	11,930	12,444	12,691	13,046	13,268	10,038	10,582	11,283	11,683	11,776	11,883	14,006	△		
		3	客観	転入者数・転出者数/年間(人)	3,327 3,281	3,288 3,069	3,369 3,497	3,443 3,302	3,715 3,485	3,145 3,296	2,929 3,351	3,517 3,419	3,408 3,425	3,652 3,490	3,710 3,531	3,959 2,793	転入者数 転出者数		△ △
9	空気がきれいである	1	主観	空気がきれいだと感じている市民の割合（％）	71.8	75.9	74.5	73.4	77.2	73.9	75.7	72.3	72.6	74.6	75.7	81.3	○	環境課 企画政策課 土木課 都市計画課	
		2	客観	一人当たりの公園・緑地面積(㎡)	9.4	9.8	9.8	9.8	9.8	11.2	11.2	11.2	11.2	11.3	10.5	10.4	◎		
		3	客観	大気中の汚染物質の基準値に対する豊明市の数値	0.012 0.020 0.030	0.010 0.020 0.032	0.010 0.018 0.033	0.011 0.018 0.034	0.010 0.017 0.034	0.009 0.016 0.034	0.009 0.015 0.035	0.009 0.015 0.034	0.008 0.015 0.030	0.008 0.015 0.030	0.007 0.014 0.036	0.009 0.015 0.023	二酸化窒素 ppm 浮遊粒子状物 mg/m ³ 光化学オキシ ダント ppm		◎ ◎ △
		4	主観	再生可能エネルギーを利用したいと思う市民の割合（％）	65.9	65.8	67.7	67.3	64.7	67.1	69.8	68.2	66.4	62.6	61.7	78.8	△		
10	日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている	1	主観	買い物や窓口行政サービスが便利になったと感じている市民の割合（％）	57.4	61.2	60.5	61.6	59.1	62.7	61.0	62.4	59.4	53.4	63.0	72.6	○	都市計画課 企画政策課 公共施設管理課 土木課 環境課	
		2	主観	市内の移動がしやすくなったと思う市民の割合（％）	59.3	59.8	60.3	60.7	62.1	65.1	64.7	62.0	63.6	61.5	65.0	73.0	○		
		3	主観	身近に自然に親しむことができる場所があると思う市民の割合（％）	62.2	67.7	65.8	68.3	67.4	67.9	68.6	63.6	65.8	62.3	62.3	74.6	○		
		4	客観	市街化区域内人口の割合（％）	74.7	75.1	75.1	75.1	75.3	75.5	76.8	76.8	77.3	77.4	77.5	78.7	○		
31	豊明市に魅力があれ、「通過するまち」から、「足を運んでいただけるまち」になっている	1	客観	メディアで紹介された市内のイベント、お店、施設の件数（件）	123	240	260	418	302	381	355	309	335	439	393	350	◎	産業支援課 秘書広報課 企画政策課 情報システム課 共生社会課 生涯学習課	
		2	客観	市外から人を呼べるような場やイベントなどがあると思う市民の割合（％）	21.2	19.2	19.1	16.6	20.3	15.6	14.2	17.6	15.9	19.2	23.5	40.1	○		
		3	客観	豊明インターを利用した自動車数(台／日)	33,700	33,100	34,061	35,114	35,229	30,144	31,178	32,040	32,418	33,094	33,484	37,916	△		
32	市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている	1	客観	市外から豊明市に働きに来ている人の数(人)	3,593	3,656	3,702	4,470	5,307	4,714	3,288	3,068	3,168	4,586	2,744	5,838	△	産業支援課 農業政策課 土木課 都市計画課	
		2	客観	法人市民税額(千円)	687,361	584,111	621,426	598,023	589,317	420,038	471,108	386,064	437,936	497,830	521,415	589,317	△		
		3	客観	農業産出量	553,770	681,900	1,000,000	808,616	980,440	766,956	1,038,352	991,159	958,204	900,447	877,702	830,000	米(kg)		◎
		3	客観	農業産出量	14,093	41,320	41,320	62,940	106,096	120,181	114,786	103,725	133,432	116,608	130,542	90,000	麦(kg)		◎
39	若い人たちが地元で働ける	4	主観	市外から豊明市に遊びに来ている人が多いと思う市民の割合（％）	43.0(子ども) 5.2(大人)	37.8(子ども) 6.2(大人)	34.3(子ども) 4.9(大人)	33.3(子ども) 6.0(大人)	33.8(子ども) 6.4(大人)	39.6(子ども) 5.9(大人)	37.1(子ども) 5.1(大人)	46.5(子ども) 6.3(大人)	42.5(子ども) 6.5(大人)	44.3(子ども) 7.1(大人)	49.4(子ども) 9.8(大人)	56.4(子ども)	達成率は子どものもの	○	
		1	客観	有効求人倍率（倍）	1.16	1.53	1.68	1.92	1.68	1.09	1.28	1.40	1.20	1.28	1.19	1.44	○	産業支援課 農業政策課 学校教育課	
		2	客観	市内在住者の市内就業者数（人）	1,529	1,341	1,486	1,647	1,098	1,400	1,742	1,748	1,594	1,631	1,511	2,014	△		
		3	客観	新規起業業者数(50代以下)（人）	80	54	14	28	38	46	37	41	26	12	11	124	△		
4	主観	市内で働くための情報が得やすいと思っている若者の割合（％）(50代以下)	7.8	16.3	14.6	16.2	15.3	18.1	16.1	14.5	14.8	20.5	20.8	30.8	○				
39	若い人たちが地元で働ける	5	主観	市内在住者で市内で働きたいと思っている若者の割合（％）	48.3	58.7	53.1	53.4	46.5	52.6	54.6	44.8	46.0	54.6	48.9	62.8	○		

行政経営

行政経営	22	行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている	1	主観	偏らず、広く市民の声を聞く努力をして、必要に応じて事業に反映していると思う職員の割合（％）	63.4	79.7	80.3	91.2	85.6	89.3	90.3	90.1	87.3	79.7	84.1	92.6	○	企画政策課 秘書広報課 共生社会課	
			2	主観	年1回は、行政に関心をもって積極的に働きかけている市民の割合（％）	3.7	6.6	4.7	4.6	4	3.8	5.1	5.4	7.4	4.8	7.2	21.3	○		
			3	客観	市民からの意見を吸い上げる制度の実施回数(回)	16	24	31	19	25	26	20	22	19	13	31	30（回）	◎		
			4	客観	附属機関等の公募委員の応募倍率(倍)	1.00	1.17	0.92	0.56	0.90	0.97	0.95	0.86	0.91	0.83	1.36	2.3（倍）	○		
	23	世代、性別などで不公平感のない予算配分や施策となっている	1	主観	世代で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う市民の割合（％）	17.8	26.7	23.2	22.5	32.7	34.0	31.0	24.0	25.5	32.3	33.3	37.1	○	企画政策課 財政課	
			2	主観	世代で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う職員の割合（％）	58.4	69.6	69.7	75.1	75.4	82.0	78.6	78.8	75.3	74.2	78.8	79.7	○		
			3	主観	性別で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う市民の割合（％）	28.9	39.5	38.9	37.1	44	46.2	42.1	40.5	46.5	50.3	50.5	49.4	◎		
			4	主観	性別で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う職員の割合（％）	79.2	89.2	85.7	91.5	90.1	92.7	94.8	92.6	92.8	95.4	95.7	93.6	◎		
	24	税収が確保され、持続可能な財政運営となっている	1	主観	行政が税金の使い方について説明責任を果たしていると思う市民の割合（％）	22.3	33.3	29.7	29.4	36.3	36.2	40.0	30.9	36.6	38.5	40.1	47.6	○	財政課 企画政策課 公共施設管理課 総務課 債権管理課 こども保育課 産業支援課 都市計画課 下水道課 出納室 学校教育課	
			2	客観	財政力指数	0.89	0.91	0.91	0.91	0.91	0.90	0.88	0.86	0.84	0.83	0.82	0.91	○		
			3	客観	経常収支比率（％）	85.6	83.0	85.1	87.1	83.1	85.9	81.1	88.3	90.0	91.0	92.6	83.56	○		
			4	客観	実質公債費比率（％）	2.5	0.1	0.2	0.3	0.09	-0.37	-0.21	0.40	1.00	1.20	1.40	0.28	○		
			5	客観	将来負担比率（％）	-8.1	-21.8	-21.3	-22.4	-29.6	-44.3	-55.8	-66.7	-61.0	-60.3	-58.3	-24.3	◎		
	25	市職員の顧客サービス向上の意識が高く、市民のほうを見て仕事をしている	1	主観	市職員の顧客サービスが高いと思う市民の割合・職員の割合（％）	35.8 74.1	44.6 77.9	45.8 75.8	46.7 83.6	47.9 80.3	49.5 81.7	52.9 85.4	47.3 84.0	52.7 80.9	56.1 78.8	58.4 84.9	56.7 84.9	市民 職員	◎ ◎	秘書広報課 企画政策課 情報システム課 市民課
			2	主観	ワンストップサービスができていると思う市民の割合（％）	66.3	67.4	69.3	72.6	72.9	73.5	78.2	71.1	78.5	80.1	79.2	80.3	○		
			3	客観	窓口対応についての市民の苦情件数（件）	10	3	5	15	4	7	14	15	7	10	13	5	△		
			4	主観	市民からの要望・苦情に対して行政が改善を行っていると感じる市民の割合（％）	35.5	43.2	44.5	42.8	48.1	48.5	52.6	45.5	50.1	53.3	54.5	59.4	○		
	26	市民にとって必要な情報が提供され、行政が取り組んでいることが市民に分かりやすい	1	主観	市のホームページが見やすいと思う市民の割合（％）	31.5	36.6	42.0	41.1	42.3	41.9	46.1	38.1	41.9	41.9	43.3	57.9	○	秘書広報課 企画政策課 情報システム課 議事課	
			2	主観	窓口のレスポンスが的確だと思う市民の割合（％）	51.0	56.9	63.0	62.8	61.0	67.5	69.9	65.0	68.1	71.9	73.5	71.5	◎		
			3	主観	市のホームページの情報が役に立ったと思う市民の割合（％）	-	-	-	-	57.0	56.0	57.9	52.1	52.8	64.3	59.9	63.9	○		
			4	主観	行政が取り組んでいることが分かりやすいと思う市民の割合（％）	-	-	-	-	-	25.7	33.0	25.3	27.9	30.0	28.9	36.9	○		
			5	客観	議会改革度調査の情報共有の順位(位)	-	-	-	-	402	318	337	337	513	-	-	225	-		
			6	主観	議会の情報が十分に得られていると思う市民の割合（％）	-	-	-	-	-	24.0	28.3	22.7	25.7	28.7	28.8	34.8	○		
	27	行政は明確な成果目標を持ち、定期的に達成度を確認し、絶えず改善している	1	主観	目標の達成度評価を重視して仕事をしている職員の割合（％）	61.7	69.4	70.9	81.6	81	85.6	82.8	84.0	82.5	82.0	84.1	84.8	○	企画政策課 秘書広報課 財政課	
			2	客観	事業改善、新規事業の提案数(件)	94	73	74	141	127	64	64	129	88	81	43	160	-		
			3	客観	成果指標の年度別達成率（％）	32.0	32.0	54.0	49.4	85.2	19.8	34.2	27.2	29.5	22.5	-	100	-		
	40	市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている	1	主観	先を見据えた仕事ができている職員の割合（％）	49.4	66.2	65.7	71.9	72.9	77.3	80.9	78.0	78.7	76.8	80.6	83.0	○	秘書広報課 企画政策課 情報システム課 議事課	
			2	客観	他団体からの視察を受け入れた回数（回）	28	63	57	128	134	39	216	261	227	206	85	134	○		
3			主観	議員の政策立案能力が高まっていると思う市民の割合（％）	11.0	21.3	19.3	21.2	25.3	24.9	28.4	21.8	28.0	31.0	32.7	37.5	○			
4			主観	市長・市職員の政策立案能力が高まっていると思う市民の割合（％）	21.9	39.6	36.1	39.3	43.6	39.4	40.0	36.7	37.5	41.8	42.0	47.8	○			